

あわれみを受ける尊い栄光の器、麦粒、ぶどうの木の枝

聖書：ローマ 9:21, 23. 使徒 9:15. II コリント 4:7. ヨハネ 12:24. 15:1, 4-5, 7

あわれみを受ける尊い栄光の器

ローマ 9:21 それとも陶器師は土くれに対して、同じかたまりから一つを尊い器に、もう一つを卑しい器に、造る権威を持っていないのですか？

ローマ 9:23 しかも、栄光へとあらかじめ用意しておられたあわれみの器に、彼の栄光の豊富を知らせようとされたとすれば、どうなのでしょう？

麦粒

ヨハネ 12:24 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実【粒】を結ぶ。

ぶどうの木

ヨハネ 15:5 わたしはぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人がわたしの中に住んでおり、わたしもその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからである。

MSG7 あわれみを受ける尊い(そして)栄光の器、麦粒、ぶどうの木の枝			
I	あわれみを受ける尊い(そして)栄光の器	A	神は人をご自身の器として創造された
		B	「開いた器」
		C-E	あわれみを受ける尊い器(そして)栄光の器
II	信者は麦粒	A-B	キリストは一粒の麦、わたしたちは多くの麦粒
		C-G	麦粒が地に落ちて死ぬという経験
III	信者はぶどうの木の枝	A	ぶどうの木とその枝は三一の神の有機体
		B-E	キリストの中に住む経験
		F-G	キリストの中に住むことの結果

朝ごと第7週 あわれみを受ける尊い(そして)栄光の器、麦粒、ぶどうの木の枝			
日	段落、思路	主題	要点
1	あわれみを受ける尊い栄光の器	わたしたちはあわれみを受ける器として造られました	「開いた器」 わたしたちはあわれみを受ける器として造られました
2		わたしたちは尊い器として造られました	尊い神としてのキリストを内容とする 尊い器は予防接種する者です
3		わたしたちは栄光の器として造られました	わたしたちにはイエス・キリストの御顔があります 心を主に向け主の栄光を見る
4	麦粒	キリストの中の信者は麦粒です	キリストは一粒の麦、わたしたちは多くの麦粒 麦粒が地に落ちて死ぬという経験
5	ぶどうの木 の枝	信者は、キリストというぶどうの木の中に住む木の枝です	ぶどうの木とその枝は三一の神の有機体 枝はキリストの中に住む必要がある
6		キリストの中に住むことの経験と結果	キリストの中に住むことの経験 キリストの中に住むことの結果

結びの言葉			
器	命を入れる	開かれた	神の団体の大いなる器となる
麦粒	命を解放する	碎かれる	ミングリングされて一つパンとなる
木の枝	命の表現	実を結ぶ	三一の神の有機体

あわれみを受ける尊い(そして)栄光の器

I. キリストにある信者は、あわれみを受ける尊い栄光の器です。わたしたちは容器であり、あわれみ、尊さ、栄光としてのキリストを内容としています—ローマ 9:21, 23:

神は人をご自身の器として創造された

- A. 神が人を創造した目的は、人をご自身の器、すなわち、ご自身の土の器に造り、命としてのキリストを内容としキリストで満ちし、キリストのからだを建造して、神の大きな団体の器である新エルサレムを究極的に完成して、神を表現させるということです—創 2:7. 使徒 9:15. ローマ 9:21, 23. II コリント 4:7. II テモテ 2:20-21. マタイ 25:2-4, 8-9. ゼカリヤ 4:11-14. 参照、啓 3:18。

マタイ 25:4 しかし、思慮深い者たちは、自分のともし火と共に、器に油を持っていた。

「開いた器」

- B. パウロの十四の書簡はすべて、「開いた器」という言葉に要約することができます：

1. 神がどれほどご自身をわたしたちの中へと分与することができるかは、わたしたちがどれほど開くかにかかっています。神は、わたしたちがただ彼を愛し、彼に対して開き続けることだけを願っています—列王下 4:1-7. マタイ 5:3. ヨハネ 1:16. イザヤ:15. 66:1-2。

列王下 4:6 彼女は器を満ちたとき、自分の子に、「もっと器を持って来なさい」と言った。しかし彼は彼女に、「もう器はありません」と言った。すると油は止まった。

ルカ 1:53 彼は、飢えている者を良いもので満ちし、富んでいる者をむなしく帰されました。

2. 衰退は自己満足から始まります。進歩は飢え渴きから始まります—申 4:25. ルカ 1:53. ピリピ 1:25. 啓 3:16-18。

C-E:あわれみを受ける尊い器(そして)栄光の器

あわれみの器

- C. わたしたちがあわれみの器として創造されたのは、あわれみの神としてのキリストを内容とするためです—ローマ 9:11-13, 16, 20-21, 23. 哀 3:21-23. ルカ 1:78-79:

ローマ 9:21 それとも陶器師は土くれに対して、同じかたまりから一つを尊い器に、もう一つを卑しい器に、造る権威を持っていないのですか？

ローマ 9:23 しかも、栄光へとあらかじめ用意しておられたあわれみの器に、彼の栄光の豊富を知らせようとされたとすれば、どうなのですか？

1. 神のあわれみは、神の属性のうちで最も遠くまで到達するものであって、わたしたちをみじめな地位から、彼の恵みと愛にふさわしい状態へと救います—エペソ 2:1-4. ヘブル 4:16。
2. わたしたちは神のあわれみのゆえに、他の人たちが福音に応答しなかったときに、この福音に応答し、他の人たちが命としてのキリストについての言葉を受け入れるのを拒絶したときに、この言葉を受け入れ、他の人たちが主の回復の道から後ずさりしたときに、この道を取りました—詩歌 234 番 3 節。

詩歌 234:3 (全訳)

天の御父の御座を離れ、誕生して人と成られました。恵みは何と広いことでしょう。自分をむなしくし、ご自身を捨て、血を流し、罪を贖われたのは、望みのないアダムの子孫を救うためです。すべてはあわれみであり、無限で、無代価で与えるものであり、わたしのような罪人にさえ臨みました！ すべてはあわれみであり、無限で、無代価で与えるものであり、わたしのような罪人にさえ臨みました！

3. 「あわれみ」は、わたしたちのみじめな状態によって動機づけられる神の外側の行ないを指しています。「慈しみ」は、神の愛の本質から生じる彼の内側の愛情を指しています—ローマ 9:15. マタイ 9:36。

ローマ 9:15 なぜなら、彼はモーセに言っておられるからです、「わたしは自分があわれもうとする者をあわれみ、慈しもうとする者を慈しむ」。

マタイ 9:36 そして彼は群衆を見て、彼らに深く同情された・なぜなら、彼らは牧者のいない羊のように、苦しめられ、捨てられていたからである。

4. わたしたちは毎朝、慈しみ深い方としてのキリストと接触しなければなりません。それは、わたしたちが王国の実際の中を生きて、他の人たちにあわれみ深くあり、他の人たちを裁かないためです—哀 3:21-23. マタイ 5:7. 7:1。

哀 3:21 わたしはこれを心に思い起こす・それゆえ、わたしは望みを持つ。

哀 3:22 わたしたちが減ばされないのは、エホバの慈愛である・まことに、彼のあわれみは尽きることがないからだ・

哀 3:23 それらは朝ごとに新しい・「あなたの信実は大偉です」。

マタイ 5:7 あわれみ深い人たちは幸いである・彼らはあわれみを受けるからである

マタイ 7:1 あなたがたは、裁いてはならない・あなたがたが裁かれないうちである

尊い器

- D. わたしたちが創造されたのは、尊い器となって、尊い神としてのキリストを内容とするためです。尊い器は予防注射する者であり、他の人たちに予防注射をして、召会の衰退に抵抗させます—Ⅱテモテ 2:20-22. Ⅲテモテ 9:9. サムエル上 2:30:

Ⅱテモ 2:20 ところが、大きな家には金や銀の器だけではなく、木や土の器もあり、そしてあるものは尊いことに、あるものは卑しいことに用いられます。

Ⅱテモ 2:21 ですから、だれでも自分自身をこれらのものから清めるなら、その人は尊いことに用いられる器となり、聖別され、主人に役立ち、あらゆる良いわざに間に合う者となるのです。

Ⅱテモ 2:22 ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい・そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。

1. 予防注射する者は教える者、キリスト・イエスの良い奉仕者であり、命の言葉で養われる者であり、日常生活の中で、召会生活のために自分の霊を活用してキリストを生きる者です—Ⅱテモテ 2:2. 1:13-14. Ⅰテモテ 4:6-7. 6:20。

Ⅱテモ 2:2 また多くの証人の前でわたしから聞いた事を、他の人たちにも教えることができる忠信な人たちにゆだねなさい。

2. 予防注射する者は兵士であり、異議を唱える者の異なる教えに対して戦い、使徒たちの務めにしたがって神のエコノミーを遂行して、命に満ちて命の中で王として支配することによって、死、すなわち、神の最後の敵に対して戦います—Ⅱテモテ 2:3-4. Ⅰテモテ 1:18. ローマ 8:6, 11. 5:17。

Ⅱテモ 2:3 キリスト・イエスの良い兵士として、わたしと苦難を共にしなさい。

Ⅱテモ 2:4 兵士として服務している者はだれも、日常生活の事にかかわってはいません・それは、徴兵した者を喜ばせるためです。

4. 予防注射する者は農夫であり、すべてに適合する命によって神と共に働いて、命の種を人々の中へとまき、神の健康な言によって、命の霊をもって彼らに水を注ぎます—Ⅱテモテ 2:6. Ⅰコリント 3:6, 9. Ⅱコリント 6:1 前半. ルカ 8:11. ヨハネ 7:38. 6:63. Ⅱコリント 3:6。

Ⅱテモ 2:6 労苦する農夫こそ、一番先に果実にあずかるべきです。

Ⅰコリ 3:6 わたしは植え、アポロは水を注ぎました・しかし、神が成長させてくださったのです。

Ⅰコリ 3:9 なぜなら、わたしたちは神の同労者であり、あなたがたは神の耕された地であり、神の建物であるからです。

5. 予防接種する者は働き人であり、(大工のように)真理の言を真つすぐに裁断し、神の言葉の各部分を正しく、また正確に、真つすぐに、曲解することなく明らかにします。真理の言が正しく開かれる必要があります。それは暗くされた人々を照らし、毒に対して予防接種し、死を飲み尽くし、そらされた信者たちを正しい路線に連れ戻すためです—Ⅱテモテ 2:15. 参照、使徒 26:18. 詩 119:130, 133。

Ⅱテモ 2:15 あなたは良しと認められた者、真理の言を真つすぐに裁断する、恥じる
ところのない働き人として、神に自分自身をささげるように、熱心に努めなさい。

栄光の器

- E. わたしたちは栄光の器であり、栄光の神としてのキリストを内容とします:

1. 栄光とは、表現され、大きく表現された神ご自身です—エレミヤ 2:11. 使徒 7:2. エペソ 1:17.

Ⅰコリント 2:8. Ⅰペテロ 4:14. コロサイ 2:9.

*イエス・キリストの御顔

2. わたしたちはこの宝、すなわち、栄光の神としてのキリストに、土の器であるわたしたちの内側に住んでいただいています(Ⅱコリント 4:7)。わたしたちに内住する「この宝」は、「イエス・キリストの御顔」(6 節)、キリストの臨在、キリストのパースンです(2:10—「御前」はパースンを指します)。

Ⅱコリ 4:7 しかし、わたしたちはこの宝を土の器の中に持っています・それは、
この卓越した力が神のものであって、わたしたちからではないことが
現れるためです。

Ⅱコリ 4:6 なぜなら、「暗やみから光が照りいでよ」と言われた神は、わたした
ちの心の中を照らして、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知
識を、輝かせてくださったからです。

Ⅱコリ 2:10 しかし、何かの事であなたがたが赦す人を、わたしも赦します・なぜ
なら、もしわたしが何かを赦したとしたら、わたしの赦したことは、
あなたがたのためにキリストの御前で赦したからです。

*心を主に向け

3. わたしたちは心を主に向けるとき、わたしたちの霊の中でキリストの臨在としての霊なる主を見つめ、「栄光から栄光へ、……徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです」—3:16-18。

Ⅱコリ 3:16 しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいに取り除かれま
す。

Ⅱコリ 3:18 しかし、わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のよ
うに見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変
えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

*主の栄光を見つめ、反映して

4. 主の栄光を見つめることは、主ご自身を見ることです。主の栄光を反映することは、他の人たちがわたしたちを通して彼を見ることができるようになることです

—イザヤ 60:1, 5。

イザヤ 60:1 起きよ！ 輝け！ あなたの光が来て、エホバの栄光があなたの上に
すでに昇っているからだ。

イザヤ 60:5 その時、あなたは見て光を放ち、あなたの心は畏れと喜びでわき上
がる・海の豊富があなたに移され、諸国民の財宝があなたに来るから
だ。

信者は麦粒

Ⅱ. キリストにある信者は麦粒です—ヨハネ 12:24:

ヨハネ 12:24 まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う・一粒の麦が地に落ちて
死ななければ、それは一粒のままである・しかし、それが死んだなら、多
くの実を結ぶ。

A-B:キリストは一粒の麦、わたしたち信者は多くの麦粒

- A. キリストの死と復活を通して生み出された多くの麦粒は、一つパン、すなわち、キリストのからだを形成するためです。麦粒は砕かれ、油とミングリングされ、かまどで焼かれて、共にブレンディングされて一つパンとなります。このパンは、穀物のささげ物によって表徴されています— I コリント 10:17. レビ 2:4-5。

I コリ 10:17 一つパンであるからには、わたしたちは数が多くても一つからだなので
す・それは、わたしたちがみなこの一つパンにあずかるからです。

- B. 主は一粒の麦として地に落ちて、死を通してご自身の魂の命を失いました。それは、彼が復活の中でご自身の永遠の命という火を「多くの麦粒」に対して解き放つためでした。わたしたちは多くの麦粒として、死を通して自分の魂の命を失わなければなりません。それは、わたしたちが復活の中で永遠の命という火を享受し、他の人たちに解き放つためです—ヨハネ 12:24-26. ルカ 12:49-50. I コリント 15:31,
36. II コリント 4:12。

C-G:麦粒が地に落ちて死ぬという経験

- C. 麦粒が地に落ちて死ぬように、わたしたちの外なる人は砕かれ、消耗されます。それによつてわたしたちの内なる人は日ごとに新しくされることができます—16, 10-11 節. テトス 3:5. エペソ 4:23. 5:26。

II コリ 4:16 こういうわけで、わたしたちは落胆しません・それどころか、わたしたちの外なる人が朽ちていっても、わたしたちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。

II コリ 4:10 絶えずこの体に、イエスの致死力が働いています・それはまた、イエスの命が、わたしたちの体に現されるためです。

II コリ 4:11 なぜなら、わたしたち生きている者はイエスのために、絶えず死に渡されているからであり、それはイエスの命が、わたしたちの死ぬべき肉体に現されるためです。

テトス 3:5 彼はわたしたちを救ってくださいました・それは、わたしたちが行なった義のわざによってではなく、彼のあわれみによってであり、再生の洗いと聖霊の更新を通してです・

エペソ 4:23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、

エペソ 5:26 それはキリストが召会を聖化し、言葉の中の水の洗いによって召会を清めるためであり、

- D. キリストのからだを建造するために霊的なクリスチャンは、毎日三つのものを「読」まなければなりません。すなわち、彼は聖書を読む必要があります。彼は彼の内側の感覚を読む必要があります。彼は彼の環境と状況、すなわち、彼の周りの人、事、物を読む必要があります—ローマ 8:6. 参照、箴 16:9。

ローマ 8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

箴 16:9 人の心は自分の道を計るが、エホバは人の歩みを導かれる。

- E. わたしたちは、他の人たちが変わるように祈り、望むかもしれませんが、このように祈れば祈るほど、何も変わらないことがますますはっきりします。これは、神が創造した環境であって、わたしたちを神の御子のかたちに同形化し、神の恵みと力を現します—ローマ 8:28-29. 参照、6:3-4. 列王上 7:17, 20-22。

ローマ 8:28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、わたしたちは知っています。

- ローマ 8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多く兄弟たちの間で長子となるためです。
- 列王上 7:17 柱の頂にある柱頭のために、格子細工の網と鎖細工の飾りひもが、一つの柱頭に七つ、もう一つの柱頭に七つあった。
- 列王上 7:20 二本の柱の上にある柱頭は、網細工のそばにある丸い突出部の上であり、近くにあった。また二百のざくろが、それぞれの柱頭の周りに列になっていた。
- 列王上 7:21 彼はその柱を宮の廊に立てた。彼は右の柱を立てて、その名をやキンと呼び、左の柱を立てて、その名をボアズと呼んだ。
- 列王上 7:22 その柱の頂にはゆりの花の細工があった。こうして、その柱の造作は完成した。

F. わたしたちは活動する霊と協力して、神がわたしたちのために案配した環境を受け入れるべきです—ピリピ 4:12. エペソ 3:1. 4:1. 6:20. I コリント 7:24。

- ピリピ 4:12 わたしは卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、またいっさいの事柄において、わたしは飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。
- エペソ 3:1 こういうわけで、わたしパウロは、あなたがた異邦人のために、キリスト・イエスの囚人となっています—
- エペソ 4:1 こういうわけで、主の中の囚人であるわたしは、あなたがたに懇願します。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩きなさい。
- エペソ 6:20 この福音のために、わたしは鎖につながれている大使ですが、鎖につながれていても、語るべきときには大胆に語れるよう、祈ってください。
- I コリ 7:24 兄弟たちよ、各自は召された時の身分に、神と共にとどまっていなさい。

G. わたしたちは神に不平を言うかもしれませんが、わたしたちの不平は最上の祈り、神に対する最も喜ばしい祈りとなるかもしれません。わたしたちが不平を言っているとき、神は歓喜しています。なぜなら、彼はすべてを共に働かせて益とならせているからです。それは、わたしたちが彼の御子のかたちに同形化されるためです—参照、詩第 102 篇のタイトル。

詩第 102 篇のタイトル

苦しむ者の祈り。彼が弱まり、自分の苦しい情態をエホバの御前に吐き出しているとき

信者はぶどうの木の枝

Ⅲ. キリストにある信者はぶどうの木の枝です—ヨハネ 15:1, 4-5:

ヨハネ 15:1 「わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は栽培者である。

ぶどうの木とその枝は三一の神の有機体

A. ぶどうの木とその枝、すなわち、キリストとキリストにある信者たちは、神のエコノミーにおける三一の神の有機体であって、彼の豊富をもって成長し、彼の神聖な命を表現します—1-5 節。

ヨハネ 15:4 わたしの中に住んでいなさい。そうすれば、わたしもあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしの中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。

ヨハネ 15:5 わたしはぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人がわたしの中に住んでおり、わたしもその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実

を結ぶ・わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからである。

B-E:キリストの中に住む経験

- B. ぶどうの木としてのキリストから離れて、わたしたちは無であり、何も持っておらず、何も行なうことができません。こういうわけで、わたしたちは彼の中に住み、彼の中に居続け、とどまり、居住する必要があります。そしてわたしたちが何であるかによって、あるいはわたしたちが行なうことができることによって生きるのではなく、不朽の命、すなわちキリストご自身によって生きます—14:6 前半、Ⅱコリント 5:4。

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、実際であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父に来ることはない。

Ⅱコリ 5:4 さらに、この幕屋の中にいるわたしたちが、重荷を負わされながらうめくのは、脱がされることを願うからではなく、着せられることを願うからです。それは死ぬべきものが、命によって飲み尽くされるためです。

***キリストの愛の中に住む**

- C. キリストの中に住むことは、彼の愛の中に住むことです。それはわたしたちが彼を愛し、互いに愛し合って、実を結んで神聖な命を表現するためです—ヨハネ 15:9-

10, 16-17 :

ヨハネ 15:9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛した。わたしの愛の中に住んでいなさい。

ヨハネ 15:10 あなたがたがわたしの戒めを守るなら、わたしの愛の中に住むであろう。それは、わたしが父の戒めを守って、彼の愛の中に住んでいるのと同じである。

ヨハネ 15:16 あなたがたがわたしを選んだのではない。むしろ、わたしがあなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたがわたしの名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてくださるためである。

ヨハネ 15:17 わたしがこれらの事をあなたがたに命じるのは、あなたがたが互いに愛し合うためである。

1. 「わたしは新しい戒めをあなたがたに与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。あなたがたが互いに愛し合っているなら、これによって、すべての人は、あなたがたがわたしの弟子であることを知ることになる」—13:34-35。 参照、Ⅰヨハネ 4:18-19。

Ⅰヨハ 4:18 愛には恐れがありません。完全な愛は恐れを追い出します。なぜなら、恐れは罰を伴い、恐れる者は愛の中で全うされていないからです。

Ⅰヨハ 4:19 わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。

2. わたしたちは主を愛するなら、彼で満たされます。そして何であれわたしたちの内側を満たしているものが、わたしたちから出て来ます。主を極みまで愛することは、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して、主を語り出させます—ヨハネ 21:15-17。

ヨハネ 21:15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上にわたしを愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの小羊を養いなさい」。

ヨハネ 21:16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。わたし

があなたを愛していることは、あなたがお存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を牧養しなさい」。

ヨハネ 21:17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛するか?」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたはわたしを愛するか?」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をお存じです・わたしがあなたを愛していることは、あなたがお存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を養いなさい」。

*時々刻々わたしたち自身を彼との交わりの中に保つ

D. キリストの中に住むことは、時々刻々わたしたち自身を彼との交わりの中に保つことであって、いかなるものにもわたしたちと彼との間に入らせないことです。召会生活全体は神聖な交わりにかかっています。それは循環する三一の神が彼であるすべてをわたしたちの中へと造り込み、流し、交流し、移し、伝達し、分与して、わたしたちに享受させることです—I ヨハネ 1:3. II コリント 13:14。

I ヨハ 1:3 わたしたちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます・それは、あなたがたもわたしたちと交わりを持つためです・わたしたちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。

II コリ 13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

*キリストの言葉をわたしたちの内に住まわす

E. 主がわたしたちの中に住むために、わたしたちは彼の言葉をわたしたちの内に住まわせなければなりません。わたしたちが命のために彼に来て、彼の書かれた言葉の中に住むとき、彼の即時的な言葉は霊と命としてわたしたちの中に住みます—ヨハネ 15:7. 5:39-40. 8:31. 6:63。

ヨハネ 15:7 あなたがたがわたしの中に住んでおり、わたしの言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい・そうすれば、それはあなたがたにかなえられる。

ヨハネ 5:39 あなたがたは聖書を調べている・なぜなら、その中に永遠の命があると思っているからである・しかし聖書は、わたしについて証しするのである。

ヨハネ 5:40 しかしあなたがたは、命を得るためにわたしに来ようとはしない。

ヨハネ 8:31 イエスは、ご自分を信じたユダヤ人に言われた、「もしあなたがたが、わたしの言の中に住んでいるなら、あなたがたは本当にわたしの弟子である・

ヨハネ 6:63 命を与えるのはその霊である・肉は何の役にも立たない・わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

キリストの中に住むことの結果

F. わたしたちはまことのぶどうの木であるキリストの枝として、キリストを生き、キリストを成長させ、キリストを表現し、あらゆる面でキリストを増殖させる必要があります。これが、「主のものにふさわしく歩いて、すべての事で主を喜ばせ、あらゆる善いわざで実を結び、神を知る全き知識によって成長」ということです—コロサイ 1:10。

G. 実を結ぶことは、内なる命の豊富の流れ出です。内なる命の満ちあふれから、流れがあって他の人たちに届き、彼らの命の中へと浸透します。それは、彼らが残る実となって、御父に栄光を得ていただくためです—ヨハネ 15:16。

ヨハネ 15:16 あなたがたがわたしを選んだのではない・むしろ、わたしがあなたがたを選んだのである・そしてあなたがたを立てた・それは、あなたがたが

出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたが
わたしの名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてく
ださるためである。